

1. タンク堰内の溜まり水の回収・排水の運用方針

- 堰内に雨水等による溜まり水はタンクからの漏えい検知性を阻害することから、サンプリング後、回収または排水
- 堰内の汚染した溜まり水を堰から溢水させないよう、優先的に回収先を確保
- 雨水と判断できる堰内溜まり水は測定後に排水
- 排水可能エリアについては、溜まり水を一時貯留するノッチタンク（小容量）を設置済
- ノッチタンクに堰内溜まり水を一旦受け、放射能濃度を分析・評価し、雨水と判断できればノッチタンク内の水を排水。なお、豪雨に伴う急激な堰内水位上昇時の排水方法については、状況を踏まえて判断
- 汚染した雨水等の回収先確保、堰内の汚染低減や堰内への雨水流入防止に努めるとともに、継続性のある堰内雨水管理方法の確立と台風等多量降雨時の対応要領を整備

1. 暫定排水基準値

9月16日に放水した堰内の放射能濃度を参考に、以下の濃度を雨水と判断する暫定基準とする。

以下の(1)～(4)を全て満たすこと。

- (1)Cs-134・・・20Bq/L以下のND値で測定を行い、NDであること
- (2)Cs-137・・・30Bq/L以下のND値で測定を行い、NDであること
- (3)その他の γ 核種が検出されていないこと（天然核種を除く）
- (4)全 β ・・・簡易測定法により計測を行い、10Bq/L未満であること

9月16日に放水した堰内の水の放射能濃度

対象核種 (採取～データ確定までの時間)	Cs-134 (1～1.5時間)	Cs-137 (1～1.5時間)	全ベータ（簡易計測） (40分)
C東エリア	ND(20)	ND(26)	24
C西エリア	ND(18)	ND(27)	8
G6北エリア	ND(19)	ND(26)	8
Eエリア	ND(20)	ND(26)	6
H9エリア	ND(19)	ND(27)	9
H9西エリア	ND(19)	32	8
G4南エリア	ND(20)	ND(27)	3

1F構内において、明らかにタンク等からの汚染水の漏えいリスクがないと考えられる、類似の堰（薬液タンクや油タンクの堰等）内の水を測定し、雨水であると判断する基準値を策定していく。



2 堰内溜まり水に関する設備対策(短期的対応)

■堰内の汚染した雨水の回収先確保

対策	実施時期	課題
同一エリアタンク空き容量がないエリアへの堰から堰への移送ライン設置	設置済	
堰内からノッチタンク(4000m ³)への移送ライン設置【汚染した雨水貯留用】	~H25.10中	ホース調達(大量、約3km)
排水可能エリアにノッチタンク(小容量)を設置【排水予定の雨水一時貯留用】	設置済	設置スペース
ノッチタンク(4000m ³)から2号機T/Bへの移送ライン設置	~H25.10末 (調整中)	ホース調達(中量) 建屋水位コントロール

■堰内・堰間における汚染拡大防止

対策	実施時期	課題
堰内清掃・除染	~H25.10末	堰内溜まり水の排水
堰内床面塗装	~H25.12	堰内溜まり水の排水・乾燥 配管敷設箇所等の処理方法
堰内への汚染持ち込み防止(靴カバー等)	H25.9	

2 堰内溜まり水に関する設備対策(中期的対応)

- 堰内の汚染した雨水の回収先確保
- 堰内・堰間における汚染拡大防止
- 雨水流入防止対策

対 策	実施時期	課 題
堰の嵩上げ	～H25.12 (調整中)	タンク1基が損傷することを考慮した堰高さを検討
タンク天板への雨樋設置	～H25.12※ (調整中)	排水ライン設置場所
タンクエリアへのカバー設置	検討中	台風、降雪等への耐力確保

※ 堰内で高線量汚染が確認された箇所（H4北東エリア、H3エリア、H2南エリア、H4東エリア）を対象とした実施工程。その他、全エリア完了はH25年度末日途。

2. 堰内溜まり水に関する設備対策(中期的対応)

- タンク天板への雨樋は、短期間の施工、パトロール等への影響を考慮し、以下のイメージで設計・工事を計画中。なお、新規にタンクを設置するエリアは、エリア全体への屋根設置を、実施可否を含めて検討中。

